

社会資本整備総合交付金 事後評価シート

大在・岡地区

平成29年3月

大分県大分市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	大分市	地区名	大在・岡地区		面積	1009ha
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	692	国費率	0.4	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	道路(都市計画道路 岡臨海線、市道 政所山ノ手4号線)、公園(浜中公園、金道公園、大東公園、王ノ瀬公園、浜田公園、江川1号公園、江川2号公園)						
	提案事業	事業活用調査(事業分析効果に関する調査)						
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	都市計画道路 岡臨海線	事業の早急な進捗を図るため道路事業に移行した。		無し		
	新たに追加した事業	提案事業	無し	-		-		
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
		無し						

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値					
指標1	従業者数	人	12,400	H23	13,300	H28	10,265	×	あり	平成29年度推計値では、目標値13,300人に対して10,265人となり、達成の見込みは低い。今後の進展については、第1期当初からみても従業者数が減少傾向にあり、厳しい状況といえる。	H30年 3月頃
指標2	居住者数	人	25,500	H23	26,000	H28	28,165	○	あり	平成29年度推計値では、目標値26,000人に対して28,165人となり、目標値を2,165人上回ることが想定されている。達成要因としては、公園及び道路の整備により、地区内の居住環境やアクセスの快適化が見込まれており、人口の上昇傾向は引き続き期待されることから、目標1・2への波及効果としても期待できる。	H29年 4月頃
指標3											

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値					
その他の数値指標1 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	岡臨海線への自動車流入率	%	0	H23			14			(都)岡臨海線の供用開始により企業等からの自動車が流入する。それにより、現道で発生している渋滞が緩和される。このように社会基盤が整うことにより、企業活動が活発になり、従業者数の増加にもつながることも予想される。	H29年 5月頃
その他の数値指標2											

4)定性的な効果発現状況 道路及び公園整備により利便性・安全性が向上するとともに潤いある都市環境の形成が進展した。

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5)実施過程の評価	モニタリング	実施していない。	-
	住民参加プロセス	「大在地区ふるさとづくり運動推進協議会」により、大在コスモスふれあい広場の除草作業を中心に、健康ラジオ体操や夏祭り等の活動が展開されている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた - 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した - 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった -
	持続的なまちづくり体制の構築	「大在地区ふるさとづくり運動推進協議会」により、様々なまちづくり活動が実施されており、持続的なまちづくり体制の構築がなされている。	都市再生整備計画に記載し、実施できた - 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった -

様式2-2 地区の概要

大在・岡地区(大分県大分市) 社会資本整備総合交付金の成果概要

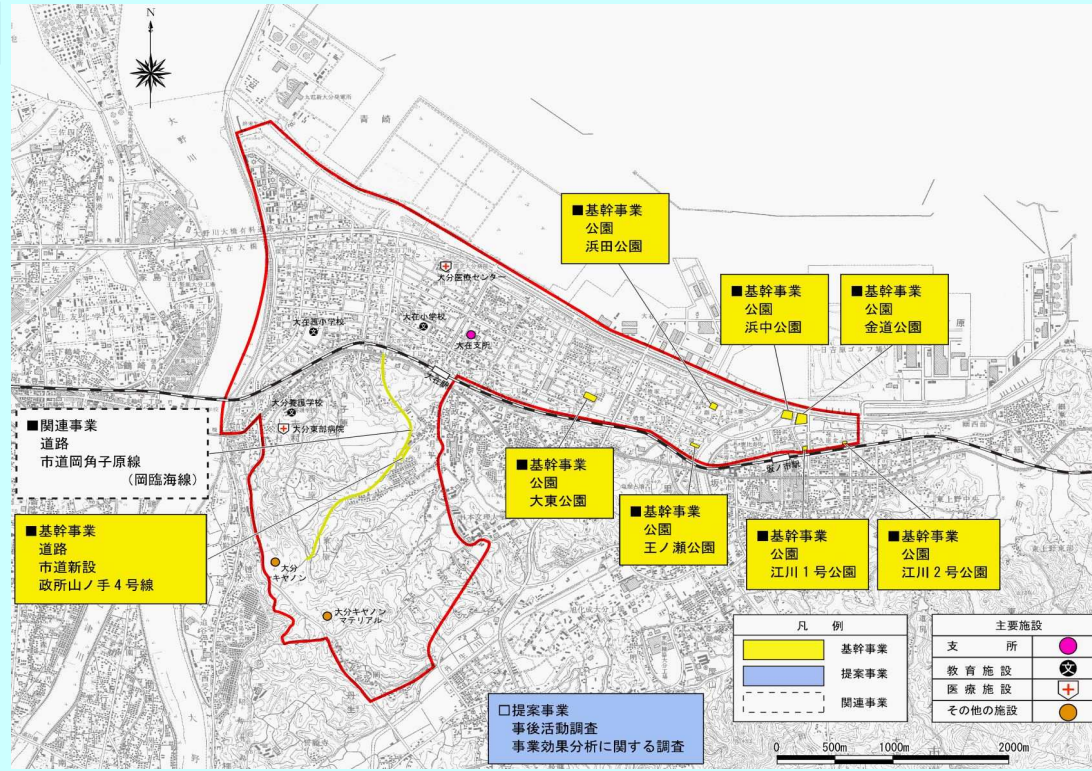
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 緑豊かな環境の中で、次世代型の先端産業の集積と潤いのある住居機能が調和した複合産業業務拠点の形成	従業者数	単位:人	12,400	H23	13,300	H28	10,265	H28
目標1 先進的な産業活動と生活環境を充実させる	居住者数	単位:人	25,500	H23	26,000	H28	28,165	H28
目標2 利便性と安全性が高く、潤いのある都市環境及び環境共生のまちづくりを図る								

大在・岡地区で実施した事業(抜粋)

■ 道路・市道岡角子原線(岡臨海線)



■ 道路・市道新設 政所山ノ手4号線



■ 公園・浜中公園



■ 公園・金道公園



【区域全体を対象とした事業】

- 事後活動調査
事後効果分析に関する調査

まちの課題の変化

平成28年度に幹線道路(岡臨海線)の整備完了が見込まれているため、完成後は大型工場の従業員による交通渋滞の緩和が期待され、また工場から直接国道へ繋がるため物流のスムーズ化が期待される。
公園の整備により、地区の緑が増加し、地域住民の憩いの場となった。
安心安全なまちづくりとして災害時の一時的な避難場所が確保された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

周辺道路の渋滞緩和や物流の向上を図るため、道路事業「都市計画道路 岡臨海線」の早期開通が求められている。
大型工場への岡臨海線を利用するよう周知する必要がある。
整備された公園を活かすため、災害時の避難経路などを地域へ周知を行うソフト施策を行う必要がある。
→地域住民の憩いの場、災害時の一時的な避難場所として活用してもらえるよう、公園整備について周知を図る。
整備された公園を今後どのように管理を行うか住民の方に理解を深めてもらうことが必要である。